

(参考様式11)

記載例

収支予算書

指定予定月から1年間の収支を月別に記載してください。

サービス種類：居宅介護・重度訪問介護

事業所名：ヘルパーステーションなごや

(単位：千円)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	
収入見込み	利用者見込数	2人	2人	3人	網掛けのセルには計算式が入力されています。			7人	8人	8人	9人	10人		
	月平均利用額(1人当たり)	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140		
	介護報酬受入れ額			280	280	420	420	560	700	840	980	1,120	1,120	6,720
	借入金・自己資金	3,000	当面の運転資金をここに計上し、資金残高がマイナスにならないようにします。											
	その他収入													0
	合計(A)	3,000	0	280	280	420	420	560	700	840	980	1,120	1,120	9,720
支出見込み	人件費	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	6,720
	旅費、交通費	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	事務所賃借費	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200
	通信費	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	諸経費	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	合計(B)	697	697	697	697	697	697	697	697	697	697	697	697	8,364
収支差額(A-B)	2,303	-697	-417	-417	-277	-277	-137	3	143	283	423	423	1,356	
資金残高	2,303	1,606	1,189	772	495	218	81	84	227	510	933	1,356		

※ 申請にかかる事業についての収支のみを計上しますので、他事業との共通経費などは、収入按分するなど適切な方法で計上してください。

要記入⇒	共通経費の有無	有	無	按分方法	収入按分	按分率	介護：障害 = 7 : 3
------	---------	---	---	------	------	-----	---------------

※ 事業開始月から1年間の収支予算を月別に計上してください。(支出の費目は、もっと細かく記載しても可)

※ 介護報酬は、国保連に請求した月の翌月末に振り込まれますので、事業開始から2か月間は介護報酬受入れ(例：4月サービス提供分は、5月に請求し、6月末に振り込まれます。)

※ 経費には、消耗品費、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、借入金返済、

※ 自己資金又は事業開始前の借入金は、事業開始月に計上して下さい。

例えば訪問介護事業所と一体的に管理する場合、介護保険事業との按分比率を概算で記入してください。